

語ろう学ぼう2023教育のつどい、開催！

秋の学び、深める！



23年度 第8号
通巻1794号

発行所：
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



11月3・4日(金・土)に、「語ろう学ぼう2023教育のつどい」(第73回高知県教育研究集会)(以下、県教研)が、高知市立江陽小学校を会場に行われました。参加者は実数で100名以上。お互いの教育実践を学び合い、明日への元気を得る集会になりました。

記念講演は金平さん
今回の県教研の講演は、ジャーナリストの金平茂紀さん。「新しい戦前の教育

にしてはならない」を演題に、現在の日本や世界の状況を分析していただきました。日頃のマスコミ

★「金平さんが実際に世界で見てこられたことは、自分たちが知らないことも多く、学びが深まりました。教師が視野広く、教育について考えることが自分たちの仕事を守ることに必要なことなのかなと思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「小・中のいろいろな学年のいろいろな子どもたちの思いを見ることが出来て、ゆったりとした時間を過ごすことが出来ました。新しい技や取り組みを学ぶことが出来ました。」

★「こちらの分科会の真つ当な討論に救われる思いがします。〜本日も大変に勉強になりました。自分の感覚がまともなのかすごく心配です。まともであるように努めなければと思います。」



のニューズなどで知り得ない様々な情報から、私たちに今の日本で考えるべきことではないことを教えてくださいました。感想をいただきました。

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」



★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」



★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

お城下

賃金労働条件確定の県教委交渉(13日・教職員福利課課長、22日・教育長)を前に、県教委に

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

★「『新しい戦前』を日々、ひしひしと感じます。私は、悲観的になんか出来ません。それでも、日頃、子どもたちの顔を見ていたら、『まだまだ私たちに出来ることがあるはず。このままでは終われない』と思います。」

好評で続くフィールドワーク！ 香美・土長教組の地元学習

10月21日(土) 9時30分から土佐長岡郡教職員組合と香美

香南教職員組合合同開催の、実践交流会が行われました。実践交流会という名前ですが、昨年春の全国教研プレ企画以降、香美香南地区に残る戦跡や文化財等をめぐるフィールドワークを行っています。この日は初回から数えると4回目のフィールドワークでした。講師は香南市文化財センターの職員を長年務められた、元中学校教員の松村信博先生、大変お話が上手で、いつも歴史の世界に引き込まれてしまいます。

参加者は全部で6名、未組合員が2名、

たぐさんの若い方の実践につながれば、という思いはありますが、思うように参加者を広げられていないところが少し残念です。今回は香南市野市町東佐古の鬼ヶ岩屋洞へ行きました。弥生式土器や貝殻等が出土した鬼ヶ岩屋洞内には太平洋戦争末期、陸軍第155師団歩兵第447連隊の一隊と思われる部隊が、弾薬庫を築いていた痕跡があります。弾薬の誤爆で周囲が破壊されることを防ぐために築いた石積みも今も残っています。洞穴の全長は30mほどですが、天井部の高さは、20mほど、幅は10mほどで、スケールの大きさに参加者全員があんぐり口を開けて見入ったほどでした。陸軍が塞いだのか、光がほとんど届かない最奥部には石が詰まらされていました。入口手前に香南市教育委員会が立て

た看板がありますが、

車道分岐や歩道入口に標識がないため、現在、訪れる人は、地元の方以外には皆無に等しいのではないかと思います。ただ、石灰岩むき出しの岩盤の岩肌がトレーニングになるようで、クライミングをしている人々に出会いました。かつて地元の小学校では遠足で洞窟の上部の山頂(岩の上の部分)まで上がり、子どもたちがお弁当を食べたということでした。この洞窟には悲しい言い伝えがあります。江戸後期の話です。明かりも持たず、肝試しに行った「おもよ」さんという女性に、「ちゃんと帰って帰ってきた」という証拠にするために「フグシ」(ハタ道具・くさびのような先のとがった金属で

しよつか)を岩に打ち込んで帰ろうとしたところ、自分の着物の「つま」を一緒に打ち込んでしまい、

一步も動けなくなり、鬼に足止めされたと思ったのでしよつか、気絶してそのまま絶命してしまった、というものでした。以降、無謀な行いを戒め、「お妻が祠」を立ててその女性を供養したというので、祠やその説明の看板が鬼ヶ岩屋洞の入り口にありました。「足元は運動靴、お持ちの方はキャラバンシューズなどを履いて…」と今回のご案内には書きましたが、革靴で参加された方も、なかなかハードな山道で、今までの4回の中では、一番危険な岩登り、山登りの行程でした。途中、松村先生に「山道が少し広く感じないですか?」と尋ねられ、「そう言われれば広いかも…」と思いましたが、「軍道」だったからだそうです。下りはいわゆる「往還」を歩きましたが、あきらかに上りに歩いた軍道が広がったことが下り道でよく分かりました。

鬼ヶ岩屋洞の最奥部とつながっている

とされている湧き水が出ています。水出洞にも行きました。現在でも取水されています。豊富で清らかな水を楽しむことができました。全員で土佐山田まで戻り、香美教組の会館で共済の話を聴きながら、お昼ご飯

のお弁当をおいしく

いただいたので、今回の実践交流会はお開きになりました。1回目は香南市夜須町住吉海岸の震洋艇爆発事故の碑、手結海軍砲台跡を回り、2回目は野市町のトーチカ跡や上岡戦争遺跡の学習、3回目は赤岡町の散策と吉川町のグラマンのエンジンの学習と、今のところ、私はすべてのフィールドワークに参加していますが、身近な地域にこれほどの歴史的価値のある遺跡・遺産があるなんて思いもしなかった。たので、毎回、「あく、若い人に、特に

(今は香南市を中心

に回っているので)香南市の若い先生に来てもらえないかな」と強く思うようになっていきます。講師の松村先生に相談したところ、トータル10件ほどは、場所を変えて、時代も変えて、案内していただけのことでした。まだまだ続編ができます。ネタは尽きません。みなさん、ぜひ、土長教組・香美教組のフィールドワークに参加してください！と言っても、次回開催予定は来春です！春と秋はフィールドワーク！今後ともよろしく願います。(泉谷博之)



わが友、第五福竜丸
作・演出 坂手洋二

「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」参加事業
2023年12月13日(水)
開場18:30 開演19:00
高知県立県民文化ホール
オレンジホール



【全席指定・税込】
一般 3,500円 / 25歳以下 1,000円

学校でのハラスメント防止 その2 県教委の対応の問題点①

今回からは、2つの事件から明らかにした県教委の対応の問題について紹介していきます。(野村幸司)

まずは、あまりにお粗末な被害者対応についてです。

2つの事件いずれも、被害者が校長に訴えただけでは解決は得られませんでした。被害者が自ら行動を起こし、県議に相談したことで解決に向けた動きが始まったのです。

南高校でのパワハラ事件から

南高校で教育実習生が指導教員等からのパワハラ行為を受けたのは21年秋のことでした。被害者家族が学校を訪ね、被害を訴えたのが22年1月。校長と面談し、①パワハラ認定と②不当な成績の見直しを求めました(教

育実習後に大学に届いた成績は最低評価でした。

被害者家族の訴えに対し校長は「高知県の高校の体育の教員」の問題に触れ、指導教員に対する指導を約束、成績の見直しにも言及しました。ところが、その後高等学校課と相談する中で態度が変化します。

22年2月7日に被害者家族と面談した際、校長は「(加害教員が)言ったかもしれない、けどはつきり覚えていない、だからそれが確定したものではないので、その事については指導はできない」と述べ、成績の見直しについても拒否します。

被害者である実習生に対する聞き取りや、具体的事実の確認はないままでした。

このまま対応を打ち切られる事に納得できない被害者家族は、法務局等を訪ねたようですが解決は得られません。22年3月に入って知り合いの吉良県議(当時)に相談したことで事態が動き始めます。

吉良県議が伊藤教育長(当時)に対応を質したところ、教育長はすぐに実習生への聞き取りを指示。高等学校課職員が大学を訪ねて聞き取りを行い、具体的な被害事実の確認作業が始まりました。

ハラスメント被害を校長に訴えただけでは問題は解決せず、県議に相談しないと教育長にも伝わらなかったのです。もつ

ともこれで解決ではありませんでした。教育長が被害者・家族に会って謝罪するのはさらに1年後の23年5月のことです。高等学校課による事実の確認作業が始まりましたが、加害教員は22年3月末にすでに退職。他の教員への聞き取りでは真偽が定まらぬ事も多く、県教委は「ハラスメント」ではなく「パワハラ行為」の立場を崩しませんでした。

最終的に「ハラスメント」認定に至ったのは、音源の存在です。指導教員等からのパワハラに追い詰められる娘を見かねた被害者家族がボイスレコーダーを持たせていたのです。しかし、その音源についても、県

教委が提供を求めたのは22年11月。吉良県議が「『音源』があることを伝えてあるのになぜ確認しようとしなかったのか」と追及してからのことでした。

「ハラスメント被害の訴えがあれば、被害の聞き取りを行い、その事実の確認をする」、そうした当たり前のことを高等学校課が理解・実行するまで、被害者家族にとっては辛くて長い対応が必要だったのです。(続く)



県立南中・高の門と校舎 ウィキペディアより

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

教職員と家族を守って33年

WEBでかんたん見積依頼

右のQRコードから見積り依頼を⇒

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

第29回 12・8平和のつどい

世界の平和は東アジアから

いま日本のみなさんと考えたいこと

参加費 700円
障がい者・学生300円 高校生以下無料

講師 **金英丸** さん
(民族問題研究所 対外協力室長)

場所 こうち男女共同参画センター ソーレ (高知市旭町3-115)

時間 13:30~16:00 (受付: 13:00~)

平成大合併で消えた自治体名⑧

1		2		3
			4	
5	6		7	
8			9	10
		11		
12				

- 1. 今年は11月8日
- 4. 生まれつき
- 5. 地方回りの劇団やサーカス
- 8. お風呂は英語で
- 9. 運搬用手押し車
- 10. 料理を取り分ける時に使うちよつと大きめの道具
- 11. くつつきワード。パク○○、ア○○ブ、○○ズ
- 12. 毛繕いをする

【タテのカギ】

- 1. 大西洋無着陸単独飛行に初めて成功した人物
- 2. 江戸時代の大名の一つ。親藩、譜代、○○○
- 3. 健康に○○の体操を開始
- 4. インドの伝統的衣装の一つ

【ヨコのカギ】

- 6. 共通に入る動詞。北を○○、水を○○、指で○○
- 7. 若い殿様
- 9. 運搬用手押し車で屋根の棟の両端に×字形に交差させた長い木材。
- 11. 読めるかな、千木。古代建築などに×字形に交差させた長い木材。
- 12. 毛繕いをする

名(住所として残っている場合はありますが、自治体としてはなくなった名前)を作ってください。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送って下さい。締切は12月27日(ご注意!)。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただきます。とがあります。

【6月28日選者】
「こほくむら(吾北村)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございます。ハシビロコウさん(ろう学校)



プリンさん(伊野商業) まびとむらさん(第四小)

【みなさんの声より】

★今年から例年通りの学校行事が行われるようになりました。『やはり生徒の楽しそうな姿を見ると、心が洗われます。』

★『コロナ禍前の形式で(行事を)経験した先生が数名しかおらず、苦戦。』コロナ禍前に戻すものと戻さないものをよく話し合っています。

★今年も学校の花壇に、大根や春菊の種を植えました。美味しく出来ますように。

★定年延長一期生。同級生に会うと、「来年どうする?」がお決まりに。

★子どもたちのために頑張っている先生は、『疲弊しています。そのため、学校内では、「働き方改革ってなんでしょうね?』という話になっています。みなさんの学校の働き方改革って、どんな風ですか?業務改善・改革って何ですか?』

★業務改善かあ。『キョートセンセーッ! 自転車小屋の屋根の裏側に、なんか蜂の巣があるみたいですよ!』なんとかしてくださいます。と教員。『報・連・相は大切だけど、それ(蜂退治)って教頭の業務?』

★先日、交通安全の旗振りに参加しました。『道路を挟んだ向こう側では、地域の方が学生さんに「行つてらっしゃい」と元気に声をかけていました。なんて、温かくて心地良いんだらう。私も言ってみよう。』不思議だけれど「行つてらっしゃい」には「安全にね」がこもっている。気持ちが届くからか、会釈してくれる学生さんもいて、うれしい旗振り。気持ちの良い朝の始まりでした。

★カットされているマグネットシート、私は外して再利用。『それ私も税金です! 私たちの給与を捨てて!!と強く言いたいです。私が貧乏性

メールはこちら



でしょうか。

★らんまんからのアンパンマン。朝ドラブームは続きます。

★4年ぶりに開催された陸上記録会。中学校区の小学5・6年生が一堂に会し、自己記録更新を目指して力を尽くす姿は本当に清々しかったです。完全複式の本校の子どもたちにとっては大勢の中に入るだけで大冒険。『交流を深める有意義な一日となりました。』『得るものも大きかったです。』

★先日の参院補欠選挙に10億円以上かかっていることを私たちは決して忘れてはいけません。また、今回県立高校で期日前投票が実施されたが、西部の2校だけというのには意図があるように感じられる。次回は全高校でやってほしい。